

第2節 民俗芸能の伝承

「令和5年度学校運営に関する諸調査」において、伝統芸能の継承に取り組んでいる中学校は、県内に64校あることが分かりました。各学校において、総合的な学習の時間で取り組まれていたり、地域行事に参加したりするなど様々ですが、それぞれ立派な取組が行われています。

【長崎市立深堀中学校 ペーロン】



ペーロン発祥の地として、長年、ペーロンに取り組んでいる深堀中学校です。写真は、平成30年8月16日に開かれた「深堀中学校生徒ペーロン」の様子です。

（写真提供：長崎市教育委員会）

【佐世保市立宇久中学校 なぎなた踊り】



宇久本飯良地区の八幡神社に伝わる奉納踊りが、宇久中学校生徒全員によって伝承されています。写真は、令和4年10月4日の八幡神社での様子です。

（写真提供：佐世保市教育委員会）

【雲仙市立吾妻中学校 浮流】



吾妻中学校生徒は、剣柄神社の秋の大祭で奉納される“浮流”に鶴田小学校児童とともに参加しています。写真は、令和4年10月2日の秋の大祭の様子です。

（写真提供：吾妻町浮流保存会）

【大村市立郡中学校 沖田踊】



沖田踊は、令和4年にユネスコ無形文化遺産への登録が決まった「風流踊」の一つです。写真は、令和3年10月15日の総合学習発表会での生徒による沖田踊です。

（写真提供：大村市教育委員会）